

ぽかぽか広場整備基本構想
(案)

令和2年●月

狛江市

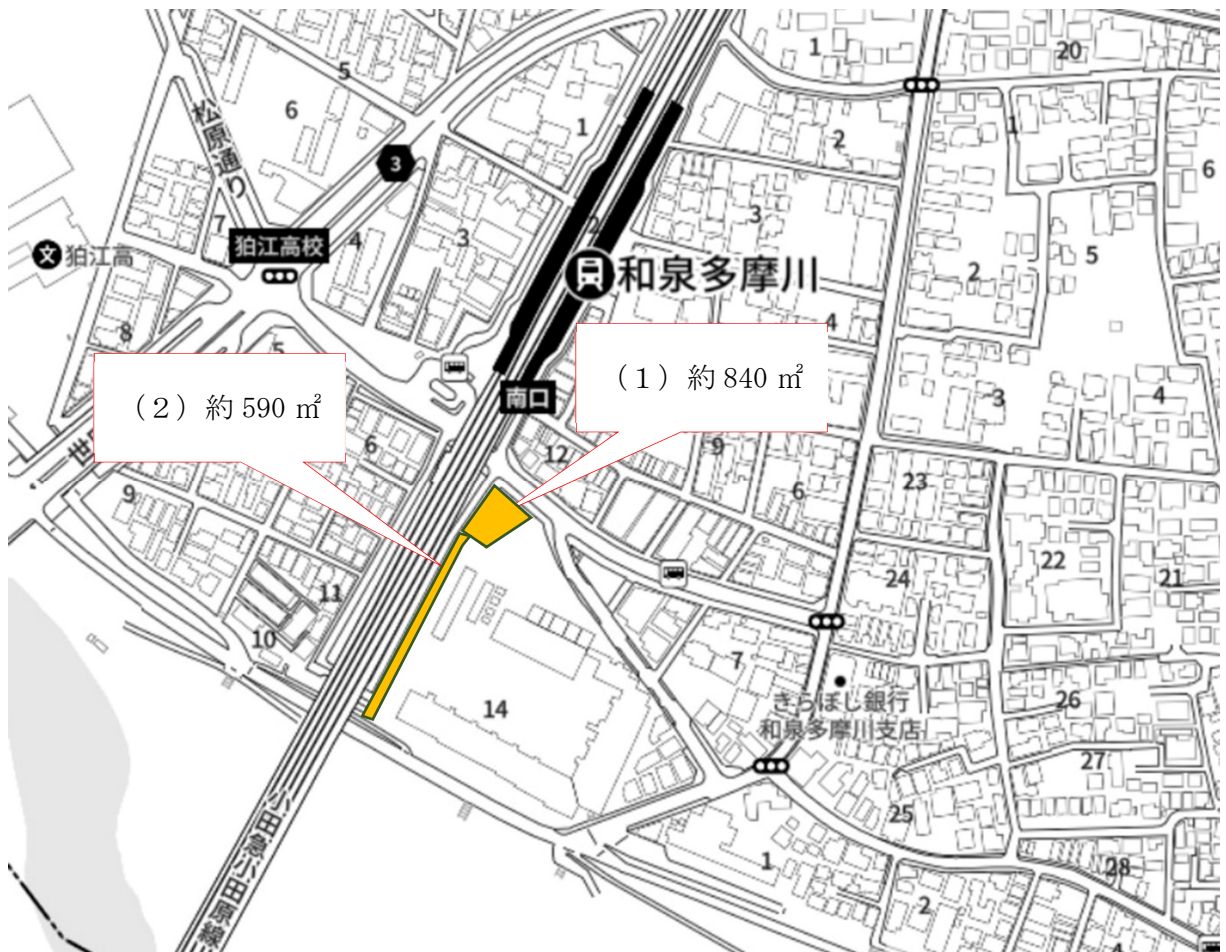
目 次

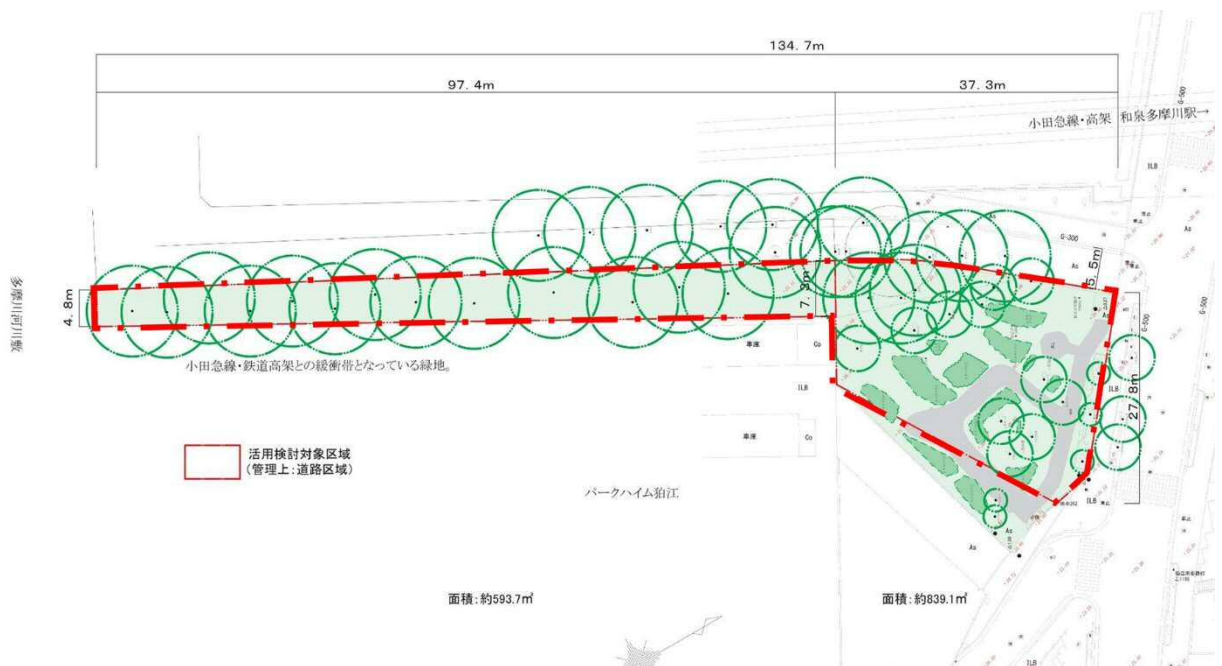
1	対象区域	1
2	整備基本コンセプト	3
3	整備内容	3
4	整備スケジュール	4
5	整備構想図	5
6	整備イメージ	6

1 対象区域

- (1) 小田急線和泉多摩川駅南側にあるパーク・ハイム狛江の北角の広場（通称：ぼかぼか広場）
- (2) 小田急線高架側道沿いの緑道

※いずれも道路区域





2 整備基本コンセプト

多摩川と和泉多摩川駅に近いという地域特性を活かし、ぼかぼか広場ならではの魅力の創出と周辺地域の活性化を実現させる。

- 「イベントにも利用できる和泉多摩川駅周辺の活性化に資する広場」

和泉多摩川駅周辺の活性化のため、商店街や地域のイベントにも利用できるよう、ステージを据えたイベント広場として整備する。また、子どもから高齢者まで幅広く利用できる憩いの場として整備とする。

- 「自然を活かし、多摩川河川敷までのテーマを持った緑道」

多摩川との調和を図るため、自然を活かした修景園路として、多摩川へのアプローチ空間となるよう整備する。また、「多摩川源流から河口まで」に見立て、見通しや開放感のある一体的な空間として多摩川を近くに感じられるようにするとともに、四季折々の草花を植栽することで、魅力あふれる緑道として整備する。

3 整備内容

(1) 舗装等

- 広場中央部分の舗装は、子どもの利用と維持管理を考慮して「人工芝生」とする。外周部分は、樹木移植スペースとして花壇を設けるとともに、イベント時におけるステージへの搬入等を考慮して「ブロック舗装」とする。
- 緑道の舗装は、修景園路とすることから「土系舗装」とする。また、園路脇には四季折々の草花を植栽する。

(2) 既存樹の扱い

- 広場は、一定の空間を確保するため、中央の既存樹の移植等を行う。
- 緑道は、既存樹を一定程度残しつつ、修景園路としての開放感も感じられるようにする。

(3) 広場の段差等

- 利用効率を考慮し、造成により周辺との高さを揃える。
- 現在の外周フェンスは撤去するが、子どもの飛び出し等を防止するため、背の低いフェンスを設置する。

(4) ステージ

- 広場の利用活性化のため、イベント利用可能なステージを設置する。ステージはウッドデッキ等で、高さ 40 センチ程度（椅子の座面の高さ）と 20 センチ程度の小段を設ける。また、ステージ下に維持管理用品等を収納できるスペースを設ける。

(5) キッチンカー（誘客機能）の利用スペース

- 緑道横のぼかぼか広場寄りの歩道部分に、キッチンカーの利用スペースを配置する。

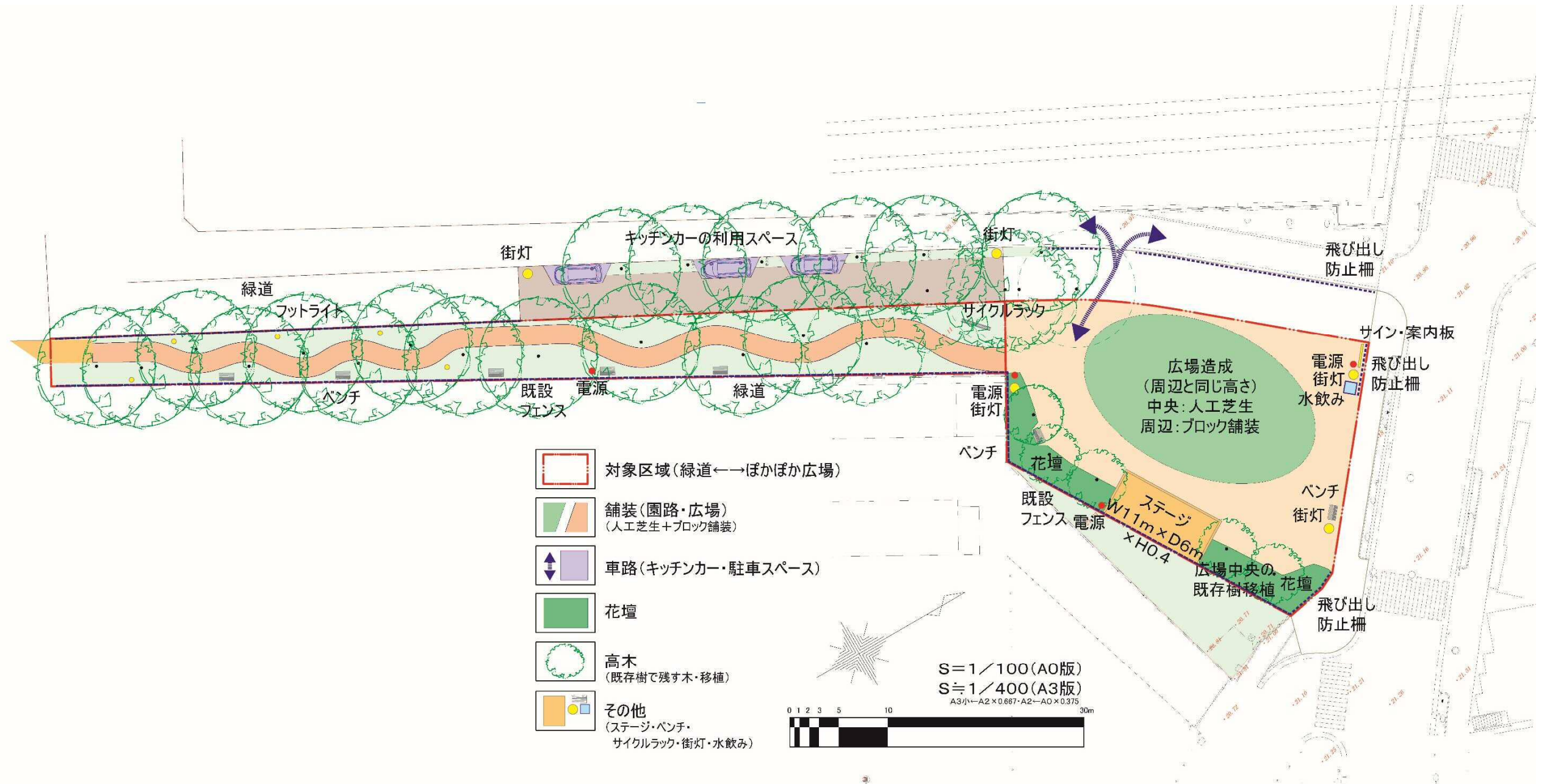
(6) ベンチほか

- ベンチについて、広場外周部分及び緑道の修景園路沿いに配置する。また、多世代の利用を考慮して「健康遊具」の機能があるベンチ等も検討していく。
- スケール感を演出するため、街灯及びフットライトを適宜配置する。
- 多摩川サイクリストの休憩場所としての利用も見込み、サイクルラックを配置する。
- 子どもの利用や暑さ対策等を考慮して、入り口付近に水飲み場を設置する。
- 広場の名称や案内表示のため、「サイン・案内板」を配置する。

4 整備スケジュール

令和 2（2020）年度	実施設計
令和 3（2021）年度	広場部分の整備
令和 4（2022）年度	緑道部分の整備

5 整備構想図



6 整備イメージ

(1) 広場整備イメージ

【現状】

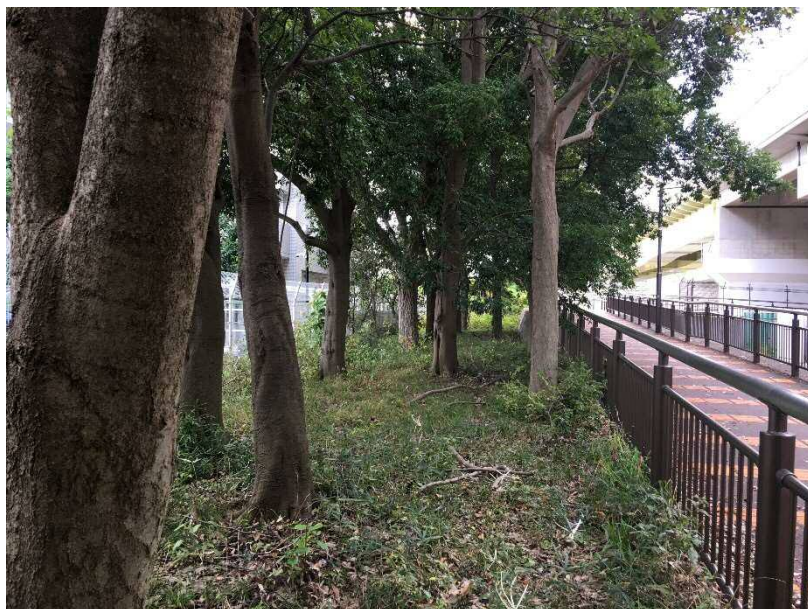


【整備後】



(2) 緑道整備イメージ

【現状】



【整備後】

